令和４年度第１回緑区公民館運営審議会議事録

１　日　時　　令和４年７月６日（水）　午後２時００分～午後３時００分
２　場　所　　千葉市誉田公民館　１階　講堂
３　出席者　　委　員　　１０人

宮城　祐子　委員（委員長）　　遠藤　秀隆　委員（副委員長）
石田　政充　委員　　尾上　直美　委員
北島　啓行　委員　　櫛田　朱美　委員
久保　房代　委員　　近藤　里子　委員
舘野　和枝　委員　　佐藤　　一　委員

事務局　　１２人

土肥課長補佐（生涯学習振興課）　　積 田 主 査（生涯学習振興課）
寺村主任主事（生涯学習振興課）　　小 林 室 長（公民館管理室）
伊 藤 館 長（誉 田 公 民 館）　　永 井 館 長（椎 名 公 民 館）
石 井 館 長（土 気 公 民 館）　　熊 野 館 長（越 智 公 民 館）
古 賀 館 長（おゆみ野公民館）
篠原副館長（誉 田 公 民 館）　　鴇 田 主 事（誉 田 公 民 館）
澁谷事務員（誉 田 公 民 館）

４　次　第
（１）開会
（２）千葉市生涯学習振興課長補佐挨拶
（３）委嘱状の交付
（４）委員・職員紹介
（５）委員長・副委員長選出
（６）議　事
　①　報告事項
　　ア　令和３年度千葉市緑区公民館利用状況について
　　イ　令和３年度千葉市緑区公民館事業報告について
　②　協議事項
　　ア　令和５年度千葉市緑区公民館事業計画について
（７）その他
（８）閉　会

５　議事の概要
（１）開会
（２）委員長・副委員長選出
　委員の互選により、委員長に宮城委員、副委員長に遠藤委員を選出し、宮城委員長が議長を務めた。
（３）報告事項　ア　令和３年度千葉市緑区公民館利用状況について

令和４年３月３１日までの千葉市緑区各公民館の「開館日数」「利用人数」及び誉田公民館図書室、越智公民館図書室の「開館日数」「蔵書数」「登録者数」「貸出冊数」等について事務局（誉田公民館長）から報告した。

（４）報告事項　イ　令和３年度千葉市緑区公民館事業報告について
令和４年３月３１日までの千葉市緑区全体事業報告、各公民館主催事業報告を事務局（各公民館長等）から順次報告した。

（５）協議事項　ア　令和５年度千葉市緑区公民館事業計画について
報告事項等を踏まえ、令和５年度千葉市緑区公民館事業計画や公民館での今後の取り組みについて委員に意見を伺った。

６　質疑応答

（１）報告事項　ア　令和３年度千葉市緑区公民館利用状況について
質疑はなかった。

（２）報告事項　イ　令和３年度千葉市緑区公民館事業報告について

舘 野 委 員　　オンライン講座は、令和３年度から実施を始めたのですか。

伊 藤 館 長　　土気公民館では、令和２年度から実施していました。

舘 野 委 員　　オンライン講座は、新型コロナウイルス感染防止対策として行っていたと思いますが、今後、拡大していく傾向なのでしょうか。

伊 藤 館 長　　オンライン講座は、感染防止対策以外にも有効な部分があります。講座を実施する館から他館へ配信することで、より多くの方が受講できることなどです。今後も継続して実施していきます。

（３）協議事項　ア　令和５年度千葉市緑区公民館事業計画について

遠 藤 委 員　　コロナ禍の影響で、令和２年度、３年度と中止せざるを得ない講座があったと思いますが、令和５年度に、その中止となった講座の実施を検討していますか。

土肥課長補佐　　これまで中止になった講座の多くが、調理を伴う講座でした。飲食の際にマスクを外すことで、感染リスクが高くなるため中止せざるを得ない状況でしたが、令和４年６月１０日から利用制限の緩和により、対面に座らずに黙食するという条件はありますが、調理室での飲食も可能になりました。これまで中止せざるを得なかった講座も開催できるのではないかと考えています。

久 保 委 員　　越智公民館で実施した「越智（オチ）で初笑い」のように、公民館から地域の高齢者施設等にオンライン配信する取り組みなどの公民館からの情報発信が増えると、地域の高齢者たちの元気につながると思いますので、積極的に取り組んでもらえたらと思います。

小 林 室 長　　千葉市内公民館全体のことになりますが、コロナ禍だからオンライン講座を実施しているということでもありません。公民館利用者の割合が高齢者に偏るなかで、もっと幅広い世代に公民館を利用してもらうことが、地域に密着した公民館の役割です。働き盛りの世代から「昼間に公民館の講座を受講するのは難しい」との声もありましたので、利用者層の拡大を図る方法の一つとして、令和２年度からオンラインを活用した講座に取り組んでいます。したがって、新型コロナウイルスが終息しても、オンライン講座がなくなるわけではなく、時間や空間の制限の少ないオンライン講座については積極的に活用していきます。

高齢者をはじめとした IT 機器等に不慣れな方向けのスマホ教室等にも取り組みつつ、オンライン配信と対面での受講が一緒に受けられる、ハイブリッドな形で実施することで、誰も置き去りにしない講座を計画していきます。

櫛 田 委 員　　仕事で、人を集めて調理指導などを実施していましたが、コロナ禍で、対面での実施が難しく、オンラインを活用して、参加者は自宅から参加して配信を見ながら実習する形式で開催をしました。そのおかげで、若い世代の方も参加も増え、高齢の方もいきいきと参加されていました。コロナ禍が終息したら対面で開催したいと考えていましたが、最近では対面での講座よりも、オンラインを活用した講座のほうが人の集まりは良いと感じています。

公民館の誰も取り残さないという取り組みは素晴らしいと思います。これから公民館同士で連携していくのは良いことだと感じました。

（４）その他

積 田 主 査　　次回の運営審議会は３月頃を予定しています。改めてご連絡いたします。